

上級生向けの多職種連携演習（全学連携地域包括ケア実践演習）。新設のお知らせ。

4年生（歯科衛生士専門学校は3年生）の皆様。

2021年度より、全学の4年生向け（歯科衛生士専門学校は3年生）多職種連携演習が実質的にスタートします（2020年度は感染症拡大予防のため休止）。全学の各職種が連携して地域包括ケアにおける実践を演習する、全学連携地域包括ケア実践演習（略して全学連携実践演習）です。皆さんは、1年生の時に必修科目として「多職種連携入門」を受講し、専門的な知識が十分でない状態で協力し合い話し合うことを学修しました。全学連携実践演習では、それぞれの学科で専門教育を受けた皆さんが、患者・当事者、家族らがケアを受けている医療福祉施設や自宅、自助サークル活動などにオンラインで訪問・参加し演習を行います（詳細はシラバスを参照してください）。皆さんが身に着けた専門的な知識を駆使して地域包括ケアにおける課題に多職種で連携して取り組んでください。

- ・ 自由選択科目です。
- ・ 各学部最大8名程度の受け入れを予定しています。
- ・ 応募者が多数の場合はGPAに基づく選考を行います。
- ・ 今年度は、8月4日（水）、8月5日（木）、8月6日（金）に実施します。
- ・ 講義内容などに関する説明会を



4月5日（月）12時 C54教室（中央講義棟5階）

および4月9日（金）12時 C11教室（中央講義棟1階）

で実施します。簡単な説明と質問に回答します。また、当日と同じ内容の動画は下記HPから視聴可能です。質問はメールなどで受け付けます(abehiro@hoku-iryo-u.ac.jp, 心理科学部・安部博史)。

https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~abehiro/ipe_advanced/index.html

ID: ipe2021 PASS: advance



ホームページへの
リンクです

- ・ 演習終了後に、全学の発表会で発表を行います（9月中を予定）。
- ・ 3日間のプログラムの前に、班決めなどを行う、直前打ち合わせ（7月後半を予定）があります。
- ・ 他の科目と同様に履修登録を行う必要があります（自由選択科目です）。登録後の変更については、安部（全学教育推進センター）か、各学部・学校の先生に相談してください。

ふたつの実習プログラム（いずれかに割り当てられます。希望調査を行いますが、多職種チームを編成するため必ずしも希望通りの配属先になるとは限りません。）

1. 医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろ（手稲区前田4条14丁目）

対象者：医療的ケアを必要とする成人当事者（本科目協力者）。（クリニックは医療的ケア児を対象）

施設情報：在宅医療・訪問看護・日中短期入所などを展開。小児在宅医療の道内拠点となる実践現場。生涯を見据えた、「みらいづくり大学」の活動や、厚生労働行政推進調査事業費「保健医療福祉資格に共通して求められるコンピテンシーの検証と教育カリキュラムの構築に関する研究」委託を受け、教育内容等の検討も実施している。

在籍職種：医師、歯科医師、看護師、ソーシャルワーカー（社会福祉士）、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、アロマセラピストなど。

演習内容：①自宅で暮らす医療的ケアを必要とする成人障害者と支援の概要説明、②「こんな夜更けにバナナかよ」解説（レクチャー）、③成人障害当事者宅での多職種連携観察（オンライン）、④当事者宅への訪問（オンライン）、⑤ICFを用いた分析とディスカッション。⑥全体報告会。

2. 北海道医療大学地域包括ケアセンター

対象者：①訪問看護ステーション：疾患や障がい、年齢を問わず、訪問看護を必要とする全ての対象者。

②居宅介護支援事業所：加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となった要介護者等。

施設情報：訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所、歯科診療所を併設し、歯科医師、看護職、福祉専門職、リハビリテーション専門職などが密接に連携した在宅ケアを展開し地域包括ケアの拠点として機能を担っている。多職種と連携しながら在宅ケアを実践できる医療人の育成と、地域社会への貢献をめざす教育・研究拠点としても充実している。

在籍職種：訪問看護ステーション：看護師、認定看護師、理学療法士、作業療法士等
居宅介護支援事業所：社会福祉士、介護支援専門員等

演習内容：①訪問看護や介護保険サービスを必要とする対象者への支援と多職種連携についての説明。②地域包括ケアセンターの概要説明。③地域で療養生活を送る対象者への同行訪問学習（オンライン）。④地域で療養生活を送る対象者を支援する多機関・多職種での多職種連携担当者会議への参加（オンライン）。⑤ICFを用いた分析とディスカッション。⑥全体報告会

質問がある場合には、各学部の担当者（シラバスに記載されている教員）か、コーディネータの安部博史（心理科学部、abehiro@hoku-iryo-u.ac.jp）にお尋ねください。